

# CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きや所管国の状況等を  
短くまとめて紹介します



## シンガポール事務所

### NATAS Holidays 2022 で日本各地の魅力を発信

2022年8月12日から14日にかけて、約3年ぶりとなるシンガポール国内最大級の旅行博「NATAS Holidays 2022」が開催され、クリアシンガポール事務所は、JNTOシンガポール事務所が出展するジャパンパビリオンに参加しました。

訪日旅行のリピーターが多いシンガポール人は、ゴールドルート（東京・山梨・静岡・愛知・京都・大阪）の訪日宿泊実績を有する方も多く、それ以外の地域の訪日宿泊実績も40%を超えています。

実際に、来場者からの問い合わせも「何度も訪日し、主要な都市にも行ったことがある。新しい訪問先を教えてください」「その地域ならではの体験や食事を楽しみたい」という内容が目立ち、こうした地方への関心の高いシンガポール人に、各地の観光名所やご当地グルメ、季節ごとの楽しみ方などの魅力を発信しました。

当事務所は、今後も所管国で開催される旅行博などに参加し、日本各地の魅力を積極的に発信してまいります。



日本各地の魅力を発信するクリアシンガポール事務所職員



## ニューヨーク事務所

### CSG South（全米州政府協議会・南部支部）の年次総会に参加しました

クリアニューヨーク事務所は、2022年7月9日から12日にかけてオクラホマ州オクラホマシティで開催されたCSG（The Council of State Governments）（全米州政府協議会）の南部支部の年次総会に参加しました。

全米州政府協議会は、1933年に設立された米国の州、属領、コモンウェルスの立法、司法、行政の三権に関わる公選職、任命職（知事、州議会議員、各種行政官など）を支援するための団体です。東部、中西部、南部、西部の4つ支部を持ち、全米州政府協議会本体だけでなく、各支部でも年次総会を開催しています。

（参考）全米州政府協議会のホームページ：<https://www.csg.org/> 南部支部のホームページ：<https://csgsouth.org/>

年次総会には米国南部地区の州議会議員など約1,400人が参加し、各分野で活躍する南部地区出身のゲストがスピーチを行いました。また、コロナ禍で深刻化したメンタルヘルス問題、EV車の普及に伴う燃料税による歳入減と道路の維持管理の問題、教員不足問題などに関するセッションが行われました。

年次総会の中で開かれた国際関係フォーラムでは、日本および台湾のパネリストを招き、南部諸州における貿易、投資などに関する各国の状況などについてのセッションが行われました。日本からはJETROヒューストンの桜内所長が登壇し、貿易摩擦是正の流れで輸出から直接投資に移行してきた経緯、その結果、米国内の多くの州において日本が投資額No.1になっていることなどについてプレゼンテーションを行いました。

（参考）年次総会サマリーレポート：<https://csgsouth.org/wp-content/uploads/SLC-2022-SummaryReport.pdf>

全米州政府協議会をはじめ、州・地方関係団体が開催する年次総会への出席は、北米事情の情報収集を行うとともに関係者との連携強化を図る重要な機会です。クリアニューヨーク事務所では、今後も北米の地方政府の取り組みについて発信してまいります。



メンタルヘルスに関するトークセッションの様子



CSG South会長のGreg Treat氏（オクラホマ州上院議員・臨時議長）にクリアの活動概要について説明するクリアニューヨーク事務所職員



## ソウル事務所

### これからの日韓交流について意見を交わしました

当事務所の所長が2022年9月1日にKIEP（韓国国際経済政策研究院）主催で開催されたシンポジウム「テーマ：韓国と日本の今後の協力関係」にパネリストの1人として招待いただき、クレアの事業や日韓の自治体間交流の現状などについて紹介させていただきました。

シンポジウムの中では、日韓双方の有識者より様々な角度（自治体間交流、観光、交換留学など）での発表があり、新型コロナウイルス感染症が落ち着き以前のように日韓の往来が自由に可能となる未来に向けて、日韓関係の問題点やこれからの課題について議論がなされました。

国家レベルでの関係は複雑な問題もあり、簡単にはいかない面もありますが、そういう状況だからこそ地域・自治体や個人レベルでのつながりを1つの契機として、これからの日韓交流を促進させていくという視点での議論を深めることができました。

引き続き様々な事業を通して草の根での活動を続けていくことで、自治体間の交流を促進し、より良い日韓関係が訪れる未来を目指して尽力していきます。



クレアや自治体の交流事業の紹介を行う様子



パネリストとのディスカッションの様子



## シドニー事務所

### 福岡県の学生がシドニーで海外ビジネスを現場体験！

8月22日から26日にかけて、福岡県の国際人財育成事業として、県内の大学生など10人がオーストラリア・シドニーを訪問しました。期間中、参加者は「観光業」「不動産・貿易業」「飲食業」の3グループに分かれて、現地の日本企業計12社を訪問し、海外ビジネスを学び体験しました。

クレアシドニー事務所は、参加者が訪問する企業や日本政府関係機関との事前調整や、研修期間中の同行などの支援を行いました。また、研修初日には参加者にクレアシドニー事務所へ来訪いただき、オーストラリアの特徴的な人口トレンドや多文化主義政策、姉妹都市を中心とした日本との友好関係について学習いただきました。

参加した大学生の中には、2020年初頭から蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響により、入学時から通常と異なる学生生活を余儀なくされ、さらに海外留学の計画も変わってしまった学生もいました。そうした中、今回の海外研修のおかげで、自身の将来像とキャリア形成イメージがつかめた参加者も多かったと思います。クレアシドニー事務所では、こうした国際人財の育成を試みる日本の自治体の活動を支援していきます。



シドニー空港での業務を体験する参加者たちの様子



クレアシドニー事務所を訪問した参加者たち



## ロンドン事務所

### 自治体訪問研修でハートルプールを訪問しました！

8月下旬に、英国東海岸の港町であるハートルプールを訪問しました。人口約9万人、7世紀に建てられた修道院を中心に発展し、19世紀には造船業で栄えた歴史ある街です。第二次世界大戦後には造船業が衰退して失業率が高まり、街の活気が失われたことから、現在、国からの約40億円の補助金を得て、大規模な再開発が進んでいます。

今回の訪問では、ハートルプール市の職員に案内いただき、再開発の目玉となる主要駅、メインストリート、ウォーターフロントエリアを視察しました。主要駅では、プラットフォームや駅の出入り口を増設することで利便性の向上を図っており、メインストリートでは、映画・映像制作の専門学校をきっかけとした賑わい創出が期待されています。また、ウォーターフロントエリアでは、港町特有の歴史や景観を保存しながら活かす取り組みとして国立海軍博物館の拡大などが進められています。

案内いただいた職員は「5年後には豊かな歴史はそのままに、見違えるほど素晴らしい街になっているはず。変化を見守ってほしい」とおっしゃっていました。今後もハートルプールの発展から目が離せません。



メインストリートと主要駅



ウォーターフロントの美しい風景



## パリ事務所

### 「Maison & Objet 2022」がフランスで開催！

世界最大のインテリア関連の見本市である「Maison & Objet」（メゾン・エ・オブジェ）が、9月8日から4日間、パリ郊外の展示会場で開催されました。この展示会は毎年9月と1月に開催され、今回は136か国、2,500社の出展があり、出展品はインテリアだけでなくキッチン用品、タオルやベッドシーツなどのリネン類からホームフレグランスまで多岐にわたりました。

クレアパリ事務所は静岡市から海外活動支援の依頼を受け、静岡市のナイトツーリズムの推進に尽力され、本展示会に招待デザイナーとしてブース出展している照明デザイナーの石井リーサ明理氏へ、静岡市長の祝辞を手渡しました。石井氏はエッフェル塔の特別ライトアップ事業も手掛けるなどフランスを始めとする各国で活躍されています。

他の展示ブースでは、モダンなデザインのテーブルウェア（徳島県）やデザイン・機能性が洗練されたキッチン用品（新潟県）、地元の繊維産業の技術を活用したファッション性の高いエコバッグ（福井県）などが展示会場に並んでいました。



日本のキッチン雑貨を見る来場者



石井氏に祝辞を渡すクレアパリ事務所職員



## 北京事務所

### 第1回クレア北京事務所ウェビナーを開催しました

9月20日、クレア北京事務所は、重慶市で「中国における日本の伝統工芸品市場～中国人の嗜好と今後の展開～」をテーマに第1回ウェビナーを開催しました。

重慶市には（一財）伝統的工芸品産業振興協会が運営する伝統工芸品アンテナショップ「重慶青山 SQUARE」があります。当日は「重慶青山 SQUARE」の執行総裁である鈴木氏を講師にお招きし、中国における伝統工芸品の販売戦略、自治体と連携したイベント事例などをお話いただきました。

ウェビナー後半には、実際に「重慶青山 SQUARE」の店舗をライブ中継し、売れ筋の伝統工芸品や陳列方法の紹介などを通じて視聴者とリアルタイムで交流を行いました。約100名の視聴者からは「実際の売り場を見ながら、事実に即した話を聞いてよかった」などの感想が寄せられました。

クレア北京事務所では今後も地域産品の販路開拓や観光文化PRをテーマとしたウェビナーの開催を企画しております。より身近に最新の中国の様子を感じていただけるよう準備してまいりますので、今後のウェビナーもお楽しみに！



第1回クレア北京事務所ウェビナー実施の様子



ウェビナー後半では「重慶青山 SQUARE」の店舗状況を30分ほどライブ中継しました



## JET プログラム事業部

### 翻訳・通訳講座（集合研修（中・韓・越））を実施しました！

9月5日から9日までの5日間、全国市町村国際文化研修所（JIAM）と共催で、翻訳・通訳講座（集合研修）の中国語・韓国語・ベトナム語コースを実施し、全国から30名のJET参加者が集いました。

本研修は、翻訳や通訳に関するスキルの向上を目的とし、プロの翻訳・通訳者である講師から指導・アドバイスを受けながら、少人数での講義や、翻訳・通訳の実践的な訓練を集中して行うものです。例年、中国語・韓国語・英語（2022年度は2023年2月に実施予定）の3言語のコースを実施しておりましたが、今年度は新たにベトナム語コースを開講いたしました。

講師の実体験に基づいた概論の講義や通訳基礎演習などを経て、最終日には司会や通訳者、パネリストなどの役割を決めて模擬シンポジウムを行いました。短期集中型の講義であり、毎日の課題など、受講者にとっては大変だったと思いますが、その甲斐もあり、確実にスキルを向上させるとともに、5日間を通じて受講者間でも絆が生まれた実りある研修となりました。



開講式



講義の様子

## 多文化共生課

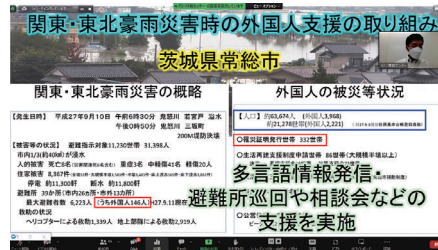
### 2022年度地域国際化協会職員国内研修（事業担当者向け）を開催しました

昨今、異常気象に伴う大雨などによって、全国各地で、局所的に災害が起きています。そのような中、住民一人ひとりが、水防災に関する知識と心構えを持ち、事前の計画などの充実を促すためのツールとして開発されたマイ・タイムラインを、2021年度にやさしい日本語を含む14言語で作成しました。2022年度は、各地域国際化協会担当者がその活用方法を学び、在住外国人への普及促進につなげるものとし、(一財)河川情報センターより、「マイ・タイムラインを活用した災害への備え」と題し、制作背景や、様々な防災ツールの活用方法を、ワークショップも織り交ぜながらご説明いただきました。

受講対象は、地域国際化協会の事業担当職員で、2022年8月18日に開催したところ、56名の申込みをいただき、盛況のうちを終えることができました。

当日は、講義のほかに、日本放送協会からも、家族で防災に取り組む入口のツールとしての「ポケット防災カード」や、在住外国人の方が母語で天気・防災などの情報を得ることができる「NHK World Japan」など、現場の支援に役立つ情報をいただきました。

2023年度も、アンケートでいただいたご意見を参考に、諸事業を企画したいと考えておりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い致します。



## 経済交流課

### 経済交流課ホームページにて海外経済活動の事例を紹介しています！

経済交流課では、自治体が行うインバウンド事業や海外販路開拓などの事例や、各分野の専門家が執筆した記事など、有益な情報をホームページで紹介しています。インバウンドや海外販路開拓についての情報収集の際に、ぜひご覧ください。

#### 〈2022年度 掲載記事〉

##### ●インバウンド事業

- 地域のイメージ作りと効果的なプロモーション
- アフターコロナを見据えた「リピーターづくり」の先進事例！佐渡市「さどまる倶楽部」と「だっちゃんコイン」の取り組み

##### ●海外販路開拓事業

- 地元産品の海外販路開拓に取り組む和歌山県の果敢な挑戦
- 日本の食を世界へ！2021年度「日本ふるさと名産食品展 in ニューヨーク」を開催しました！

詳しくは、ホームページをご覧ください。 <http://economy.clair.or.jp/category/topics/>  
 【お問い合わせ】 経済交流課 Tel: 03-5213-1726 Mail: keishin@clair.or.jp



## 交流親善課

### 2023年度「海外自治体幹部交流協力セミナー（地方交流事業）」の受入自治体を募集します！

海外自治体の幹部職員を招へいし、日本の地方自治体が抱える諸課題について意見交換を行い、地域の現状を視察・体験してもらうことにより、日本の地方行政施策に対する理解を深めてもらうことを目的に開催しております。

また、受入先の自治体と海外自治体の参加者がセミナーを通じて、お互いの課題に対する問題意識を共有することで理解が進み、相互の交流意識が高まることで、海外自治体との有効なネットワークが構築されることも期待されます。

受入時期などは、個別に調整させていただきます。

詳細は今後ホームページなどでご案内させていただきますが、興味・関心がある自治体ご担当者の方は、交流親善課までご連絡をお願いします。

ホームページ: <https://clairtyo.dn-cloud.com/cgi-bin/dneo/dneo.cgi>



視察の様子



意見交換会の様子